

# インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2007. 11. 25.

メッセージ  
「とりなしの祈り」

創世記18章22-33節

竿代照夫牧師



聖書朗読

旧約聖書

創世記18章22-33節

22 その人たちはそこからソドムのほうへと進んで行った。アブラハムはまた、主の前に立っていた。」

23 アブラハムは近づいて申し上げた。「あなたはほんとうに、正しい者を、悪い者といっしょに滅ぼし尽くされるのですか。」

24 もしや、その町の中に五十人の正しい者がいるかもしれません。ほんとうに滅ぼしてしまわれるのですか。その中にいる五十人の正しい者のために、その町をお赦しにはならないのですか。

25 正しい者を悪い者といっしょに  
殺し、そのため、正しい者と  
悪い者とが同じようになる  
というようなことを、あなたが  
なさるはずがありません。  
とてもありえないことです。  
全世界をさばくお方は、公義を  
行なうべきではありません  
か。」

26 主は答えられた。「もしソドムで、わたしが五十人の正しい者を町の中に見つけたら、その人たちのために、その町全部を赦そう。」

27 アブラハムは答えて言った。

「私はちりや灰にすぎませんが、あえて主に申し上げるのをお許しく下さい。」

28 もしや五十人の正しい者に五人  
不足しているかもしれません。  
その五人のために、あなたは町  
の全部を滅ぼされるでしょう  
か。」主は仰せられた。

「滅ぼすまい。もしそこに  
わたしが四十五人を  
見つけたら。」

29 そこで、再び尋ねて申し上げた。

「もしやそこに四十人見つかる  
かもしれません。」すると仰せ  
られた。「滅ぼすまい。  
その四十人のために。」



30 また彼は言った。「主よ。  
どうかお怒りにならないで、  
私に言わせてください。もしや  
そこに三十人見つかるかもしれ  
ません。」主は仰せられた。  
「滅ぼすまい。もしそこに  
わたしが三十人を見つけた  
ら。」

31 彼は言った。「私があえて、主に申し上げるのをお許しください。もしやそこに二十人見つかるかもしれません。」すると仰せられた。「滅ぼすまい。その二十人のために。」

32 彼はまた言った。「主よ。  
どうかお怒りにならないで、今  
一度だけ私に言わせてください。  
もしやそこに十人見つかるかも  
しれません。」すると主は仰せ  
られた。「滅ぼすまい。  
その十人のために。」

33 主はアブラハムと語り終え  
られると、去って行かれた。  
アブラハムは自分の家へ帰って  
行った。

説教

「とりなしの祈り」

創世記18章22-33節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「アブラハムはまだ、主の前に立っていた。」

(創世記18:22)

## A. 物語の背景

1. ソドムとゴモラへの審判が  
告げられる
2. アブラハムはソドムとゴモラのため  
に執り成す

## B. 神の御手を握る祈り

1. アブラハムは、神の重荷を  
分け持った

2. アブラハムは、神の立場に立っ  
て祈った



## C. 人々の手を握る祈り

1. ソドムとゴモラの救いのための  
条件闘争
2. アブラハムの「誤算」 (?)

## D. アブラハムの謙虚さと大胆さ

1. 謙虚さ：「塵と灰」

2. 大胆さ：「敢えて申し上げる」

おわりに：

私達も友のために、愛と情熱を  
持って祈り続けよう